

# 広報100号を振り返る！

広報誌「きたあきた」が平成17年4月1日に第1号を創刊して、今号で100号を迎えました。

この間、毎月1日、16日の2回発行から、今年4月から1回に切り替え、市政の運営状態や諸行事を報じてきました。

そこで、創刊100号にあたり、これまでの広報誌を振り返ってみることにしました。



創刊号  
平成17年4月1日

▽この年の3月22日北秋田市が誕生。表紙は、市内の3月22日生まれの児童生徒。

## ○広報の掲載内容

- ・北秋田市が発足（市役所開庁式ほか）
- ・旧4町閉町式
- ・高校生による寄稿「北秋田市への期待」
- ・ちいきの話題（浜辺の歌音楽館がリニューアル、小学校卒業式ほか）
- ・北秋田市長選挙、県知事選挙のおしらせ
- ・成人検診について
- ・乳幼児予防接種
- ・下水道の使用区域について
- ・市庁舎の案内ほか



第11号  
平成17年9月1日

▽国の重要無形民俗文化財に指定されている郷土芸能「根子番楽」毎年、8月14日阿仁根子集落で公開される。表紙は、子ども会による演目「花番楽」。

## ○広報の掲載内容

- ・忘れかけられた成田為三作品を発掘
- ・ちいきの話題（森吉山麓たなばた火まつりほか）
- ・平成17年度北秋田市成人式
- ・第44回衆議院議員総選挙・最高裁判所国民審査
- ・乳幼児福祉医療制度、秋田県すこやか子育て支援事業の変更について
- ・第29回秋田県民俗芸能大会
- ・前進座公演「髪結新三」ほか

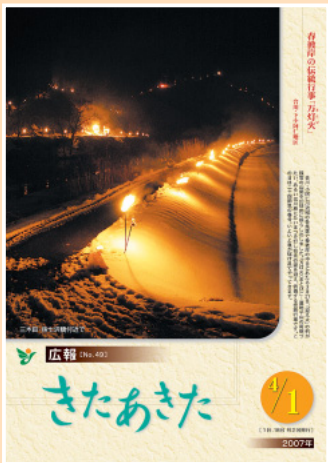


第36号  
平成18年9月16日

▽秋田県無形民俗文化財に指定されている、合川・増沢の「猿倉人形芝居」。方言たっぷりの愉快なセリフに合わせ、一人の演者が2体の人形を操る。表紙は、第1回北秋田市民俗芸能大会の様子。

## ○広報の掲載内容

- ・第1回北秋田市民俗芸能大会
- ・男女共同参画活動拠点室オープン
- ・合川歴史民俗資料室がオープンほか



第49号  
平成19年4月1日

▽春彼岸の伝統行事「万灯火」。合川・小阿仁川流域の各集落で古くから春彼岸の中日に行われてきた。表紙は三木田・孫七沢橋付近の万灯火。

## ○広報の掲載内容

- ・平成19年度市政方針・予算のあらまし
- ・北秋田市民病院建設事業
- ・4月から業務開始障害者生活支援センターほか



第69号  
平成20年2月1日

▽奥羽連山の雄大な山並みと厳しい自然が作り出すアオモリトドマツの樹氷群。表紙は、森吉山・石森（標高1308m）から。

## ○広報の掲載内容

- ・平成19年度上半期財政白書
- ・職員の給与・定員管理
- ・油の流出事故多発ほか



第57号  
平成19年8月1日

▽八幡宮綴子神社の例大祭は毎年7月14日・15日行われ、ギネスブックに認定された世界一の大太鼓などが豊作祈願で打ち鳴らされる。表紙は、当番町の下町の出陣行列。

## ○広報の掲載内容

- ・大太鼓を打ち鳴らし豊作を祈願
- ・第16回米代川花火大会
- ・認定こども園「しゃるーむ」が発足ほか



第20号  
平成18年1月16日

▽米内沢地区で60年以上続けられている、元旦恒例の倉ノ山（標高314m）登山。表紙は、山頂での初日の出。

## ○広報の掲載内容

- ・平成18年出初式
- ・申告相談（説明と日程など）
- ・トリノ冬季五輪に高橋・小林選手（本市出身）の出場が決定
- ・森吉山スキー場北秋田市民優待プランほか



第30号  
平成18年6月16日

▽市の木に選定されているブナ。森吉山山開きで森吉山麓の新緑のブナ林の残雪をトレッキング

## ○広報の掲載内容

- ・特集・新緑の奥森吉
- ・通年型プールが完成
- ・第15回米代川花火大会
- ・阿仁のゴンドラで行く森吉山紀行ほか



第79号  
平成20年7月1日

▽6月15日、北欧の杜公園で、第59回全国植樹祭が天皇后両陛下下のご臨席の下、開催される。表紙は、介添え役の緑の少年団員にお声をかける天皇后両陛下。

## ○広報の掲載内容

- ・特集「第59回全国植樹祭」
- ・行政報告
- ・健康と暮らしを守るみんなの国保ほか



第90号  
平成20年12月16日

▽「北秋田きらきらフェスティバルin米代児童公園」で同公園がイルミネーションで明るく浮かび上がる。表紙は、サンタクロース姿の小学生

## ○広報の掲載内容

- ・2008年を振り返って
- ・道路の除排雪について
- ・12月定例会行政報告ほか